

支部だより

長野県支部

第5回総会・懇親会開かれる

中澤哲哉 (F昭50)

長野オリンピックを記念し1997年11月に設立された長野県支部の第5回総会と懇親会が2004年11月6日(土)、松本市の日華楼で開かれた。2年ぶりの総会には県内在住や県出身の卒業生合わせて23人が出席し、本部から中村博理事長(E昭29)を来賓としてお迎えした。冒頭の挨拶で中村理事長は、同窓会組織を持つ国立大学が少ない中で、外語会は内外各地で精力的な活動を展開し、母校へ熱い支援を続けていると報告した。

総会では塩沢鴻一支部長(D昭24)が、外国人を対象にした「日本語弁論大会」、外語大の魅力を地元高校生に知ってもらうための「移動大学」、同窓生による公開講演会など支部設立以来7年間の多彩な取り組みを振り返り、「これからも会員が自ら楽しみ、充実感を味わえる活動を続けよう」と提言した。続く懇親会では全員が近況報告。最長老83歳の元飯田市議会議員、伊藤芳之さん(C昭18)のかくしゃくとしたスピーチに満場の拍手が送られた。最も若い出席者は地元信濃毎日新聞記者の越茂樹さん(M平6)、ガーデンデザイン事務所代表の越洋子さん(M平5)夫妻。出席者の職種は教育関係、ジャーナリスト、翻訳業、会社経営など様々だが、例外なく高い語学力を駆使して活躍の様子で、温情で卒業させてもらった私には眩しい顔ばかりだった。初対面の出席者もあったが杯を交わすほどに談論風発。“ブッシュ再選後の世界”や“ヤッシー田中知事と信州のこれから”などをテーマに大いに盛り上がった。

長野県では来年2月から3月にかけて、知的障害者のスポーツの祭典SO・スペシャルオリンピックスが開かれる。支部会員の中には各国のアスリートの世話をする通訳ボランティアをかつ

て出た人もいる。大会の盛り上がりと支部会員の活躍ぶりを改めて報告させていただくつもり。なお支部役員は支部長に塩沢鴻一氏(信越放送社長D昭24)、幹事長に岩下隆氏(信大講師C昭45)を始め副支部長4名と幹事6名が再選、幹事3名が補充で選出された。

(NHK長野放送局副局長)



モスクワ支部

原卓也元学長との「お別れの会」

朝妻幸雄(R昭43)

11月12日、モスクワ市内のレストランにおいて、10月26日に他界された原卓也先生の「お別れの会」が執り行なわれました。外語会モスクワ支部会員(50名)のうち、都合のついた26名が集い、心よりご冥福をお祈りいたしました。

幹事役の池田さん(R昭51)が原先生の遺影を準備、テーブルに飾り、更にそこに何種類かの先生の訳書を配しました。1分間の黙祷の後、参加者それぞれより、生前の原先生との個人的な関わりや、エピソードが順に披露されました。

そうした一つ一つの出来事や思い出が語られるに連れて、次第にそれらが纏まった形となって、原先生の誰にも垣根を作らない暖かいお人柄が、彷彿として浮かび上がる結果となりました。そしてロシア文学の世界で果たされた偉大な業績について改めて畏敬の念を表したもので

した。それは単にロシア語の世界だけではなく、よい翻訳には立派な自国語の知識と感性、表現力が必要であるということを日頃より強調され、自らそれを作品の中に示されたということです。また、こよなくお酒を愛された原先生に敬意を表して、「お別れの会」は皆でウオッカを飲みながら、先生と一緒に飲みに行った新宿の「石の華」や「コーシカ」、巣鴨の飲み屋などの思い出話も出て、おおいに話が盛り上がり、原先生とのお別れにまことに相応しい会となりました。前回、外語会のミッションが当地を訪問されて以来、約一年余りの間、多忙にかまけて会合が途切れていましたが、奇しくも原先生がモスクワの教え子たちを集める機会を作って下さったことになりました。

「原先生、先生が他界されてしまったことはとても悲しく残念ではありますが、私たちは先生の教え子として、今後とも先生の訳書を通じていつも先生の暖かい心に接することができます……」と挨拶された方がいましたが、全くその通りであり、今後とも私たちは先生の偉業に接しながら先生の存在を身近に感じ続けることでしょう。



うですが開催への賛同を頂き、実施する運びとなりました。(前任、前前任の幹事の方、ついに開催致しましたので、御安心を。)



当日は、日本食レストランにて、特に外語祭、染井霊園での肝試し等、ジェネレーションを超えた(!) 外大時代の思い出から、当地にて深刻化している治安問題、又はお薦め旅行情報(飲み放題のテキーラ列車、グランドキャニオン級の絶景を楽しむ、但し到達するまで時速30キロでの12時間に対する忍耐が要求されるチワワ鉄道)等々、話題は多岐に及んだことから深夜まで会話が弾み、次回の開催を約束しての閉会となりました。

今回は5名の方が参加下さいましたが、当地には隠れ外大卒もいるのではないかと噂も聞いておりますので、本誌をご覧になった方でメキシコ在住の方、もしくは今後お越しになる際は是非当方まで御連絡下さい。

出席者：鈴木恵子 (S昭43)、秋山信 (S昭56)、松本仁 (S平3)、久保倉健 (S平7)、山田瑠美 (S平12)

メキシコ支部

水之江美佳 (S平12)

去る9月には小泉総理が訪墨され、日墨経済連携協定署名、ピラミッドへの視察等が行われ、日本のメディアも多少賑わしたかと思われるメキシコより御報告申し上げます。当地においては、日本商工会議所会頭以下、駐在員を中心に、総勢50人以上の圧倒的な勢力を誇る某ソフィア会の存在に、完璧なまでの静粛を保っていた外語会であり、ここ数年集まることもなかったよ

モンゴル支部

斎藤博之 (M昭38)

モンゴル外語会の状況をウランバートルよりお知らせします。モンゴル外語会は東京外語と大阪外語の卒業生11人のメンバーで現在構成されています。東京8人、大阪3人です。仕事先は日本大使館に4人、JICA関係者が4人で、ほかの方は自分の事業をされている方、NGOで来ている人、教育関係の方です。主な活動は新たにモンゴルに来られた方の歓迎や帰国の方

の送迎の機会に集まって親睦をすすめています。

先日10月15日に初めて夕食会を開催しました。従来は皆様が多忙のため昼食会が持たれていました。また今回は東外大から語学留学の4人の学生さんにも参加してもらいました。会長は最年長者が自動的に指名されるしきたりで、小生斎藤博之がその任にあたり、事務局を大使館勤務の向井晋一さんをお願いしています。小生は11月10日にJICAシニアボランティアの2年間の仕事が終了しますので帰国になります。後任はモンゴル中央銀行の仕事でいらしている久保田優さん（U昭45）をお願いしてあります。帰国にあたり少し小生のJICAの任務につきふれてみます。

モンゴル唯一の総合大学のモンゴル国立大学の最初のシニアボランティアとして実践的経営学の指導にあたりました。学生への授業、教師への指導アドバイス、実業界への経営セミナーなどが主な任務でした。外語会の他の皆様はモンゴル語を駆使してご活躍ですが小生はもちろん日常会話程度はフルに活用し、主に英語で授業をしています。

大学側は学生の為に敢えて(?)英語でとの要請がありました。市場経済に移行後モンゴルの企業は多くの困難に向き合っている仕事をしています。何とか彼らの助けになればと一隅を照らす思いでボランティア活動をしました。2年の懸命の仕事も不完全燃焼の感が否めませんので再度機会を作り個人ででもモンゴルに再度来てみるつもりです。



外語大の卒業生の皆様、是非モンゴルに旅行に、また国際貢献で足を運んでくだされば幸いです。言うに及びませんが夏には満天の星、限りなく続く緑の草原、咲き乱れる高山植物の花々、

のどかな牧畜の風景がそこそこに見られます。夏の7、8月に観光客が集中しますが5月下旬の雪解けの後の高山植物の花が顔を覗かせる頃も格別です。冬もそれほど厳しくなくマイナス20～30度となっても風がなければとても暖かいです。一年を通じて低山ハイキングが楽しめます。

では次回のレポートでは皆様の活躍ぶりを載せていただきたく存じます。2年間大変お世話になりました。皆様の引き続きのご健闘を祈ります。

ニューヨーク支部

第10回海外ツアー参加者と東京、大阪両外語会メンバーとの交歓会開催

望月恒照 (Po昭26)

2004年10月15日(金)午後6時半より、マンハッタン56丁目5番街と6番街の間にある日系レストランで、合計38名の参加による交歓会が盛況に行われた。

東京からは東京外語大、大阪外語大(咲耶会)の同窓生と御家族の計24名のツアー参加者が、ニューヨークからは咲耶会NY支部の石田佳子幹事を含む5名に加え、望月を始めとするNY東京外語会メンバー9名が参加した。

「ビッグアップルによろこそ」と望月が歓迎の辞を述べたのを皮切りに、開会。続いて咲耶会の磯田会長からご挨拶をいただいた。また、東京外語会の石原支部委員長、古茶副理事長から母校の変革、国立大学法人への移行などについてご説明をいただいた。

それからしばらく飲食を交えて各自歓談した後、参加者全員が一人ずつ自己紹介を兼ねてスピーチを行った。会場は終始和やかな会話と笑いで一杯だった。

日本の国土の26倍といわれるUSAを横断し、ニューオーリンズやセントルイスなど南部各地を訪問、そしてニューヨークへと続く長旅をこなしてきたにもかかわらず、ツアー参加者たちの元気はつらつとした姿には、ニューヨーク在住者一同脱帽だった。特に石原さんや加古さんにとってはかつて駐在した懐かしの街でもあり、

「マンハッタンよ、(同時テロの) 攻撃にもめげず、雄姿を見せてくれてありがとう」などと感慨もひとしおだったことだろう。

不夜城ニューヨークも夜は更け、名残惜しさは尽きないが、午後9時半過ぎに神奈川副理事長の一本締めにて交歓会は閉幕した。今後はもっと頻繁に東京、大阪両外語会が合同で会合を持つとの声が挙がり、一同の賛同を得た。



ロサンゼルス支部

川口輝明 (A昭51)

去る12月6日、Los Angeles国際空港近くのLAX Plaza Hotelにて、2004年第2回目のLA支部同窓会が開催されました。今回はいつもの集まりとは趣向が異なり、南カリフォルニア日系大学合同同窓会に相乗りする形での集まりとなりました。今回は宮田会長夫妻以下17名の方々が参加され、飛び入りゲストで、大阪外語OBの望月夫妻も入り、合計19名の参加者となりました。

今回の合同同窓会は、もともとこの地で過去20年近く続いております南加日系大学卒業生ゴルフ大会の延長線上で初めて開催されたイベントで、約20の大学から合計170名あまりの参加者が集まりました。学生数が少ない我が東京外語大は、人数だけで他校と比べますと通常は肩身の狭い存在ですが、今回だけは2テーブル19名、参加者全体の比率でも10%以上のシェアを占め、「なんだ、なんだ、なぜ東京外語がこんなにいるんだ??」という囁きの中、その存在感で他校を圧倒しました。

また、この合同同窓会の場を借りて、妙中大先輩(C昭25)が、出席者全員に向かって、ライフワークにしておられるロサンゼルス日系敬老引退者ホームのイベントへの協力依頼を滔々と述べられ、出席者人数だけでなく、社会活動においても外語会の存在感をまざまざと示すことができたのです。



一方、ゴルフ大会の主催者幹事からは、「これだけ存在感のある東京外語大がなぜゴルフ大会ではぜんぜん存在感がないのか」という声もあがっており、シングルハンディの宮田会長を中心にしまして、来年度の重要課題としてこのゴルフ大会に臨むべく決意を固めたところがあります。来年の外語会会報には、その成果をご報告できると思いますので、ぜひご期待ください。

ロンドン支部

有澤知乃さんによる

「知って得する邦楽豆知識」

山崎美恵 (I平11)

秋風すさぶ11月12日の夜。イタリアンワインバー O'steria 57にてロンドン外語会が催された。前回7月に指揮者の村中大祐さん(D平2)を囲んだ夏の会から約4ヶ月。参加者の出で立ちも夏の軽装からロングコートにマフラーへと変化したが、単なる懇談会にとどまらず参加者全員がよい意味での文化的刺激を与え合えるという、外語会独自の趣向は健在である。

今回のテーマは、とりわけ海外に住む日本人なら必ず(?)「知って得する邦楽豆知識」SOAS (School of Oriental and African Studies, University of London) で日本の伝統音楽の研

究をされている有澤知乃さん（C平10）を講師にお招きし、三味線の実演を交えた実に興味深い夕べとなった。他大出身の有志の方々も含め20名余が集まり美味しいイタリア料理に舌鼓を打ちつつ、三味線音楽についてのQ&A、意見交換を活発に行った。

開会にあたり、まず小倉かおるさんの司会で参加者全員が故・原卓也元学長へ追悼の意を表した。次に各自の自己紹介が続き、しばしの歓談タイム。新たにイギリスへ来られ、初めてロンドン外語会へ参加される方も数名いらした。だが、「外語」という共通項にかかってしまえば、滞在年数や年齢は関係ない。あつという間に打ち解け、和気藹々と盛り上がった。

有澤さんのお話は20時をまわった頃に始まった。全くの初心者にも分かりやすいという配慮から、実際に曲をカセットテープで聴き、参加者が与えられた質問に回答するというQ&A形式がとられた。三味線音楽が実は色々なジャンルに分かれていることを具体的に説明いただき、楽器の構造、種類の違いなどが明確になっていくにつれ、目から鱗が落ちたような気持ち

になった方も少なくなかったようである。締めくくりに有澤さんの実演が始まると、参加者全員がその懐かしい調べと美声に耳を傾けた。日本文化の一部である邦楽にテーマをしぼった今回の会は、国外にでて初めて気付かされる日本文化の固有性を再認識する機会でもあった。ワインと料理でお腹を満たされた面々は絶好調で、有澤さんのお話終了後も会の盛り上がりはなかなか解けなかったが、名残惜しくも23時頃にお開きとなった。

このように有意義な集まりを通し、今後ロンドン外語会が益々活発になっていくのが楽しみである。楽しいひと時をありがとうございました。

出席者：有澤知乃、遠藤暁（V平11）、小倉かおる（R昭59）、小倉正広（D昭57）、今野里美（I平2）、酒井一雄（E昭48）、佐々木紀子（R昭58）、登道孝浩（E平14）、原田豊（S昭40）、広澤明（D昭40）、廣瀬尚文（R昭51）、福田昭久（D平2）、山崎美恵、渡辺聡子（D平10）、Kershaw 知子（Po平3）、Prosser 順子（R昭60）他

ふれあい…たいせつに

小規模の方大歓迎！会社設立・決算・相続はもちろん！
顧問先様での経理ソフト導入のお手伝い致します。



税理士 公認会計士
小林 国利



税理士
小林 俊道

小林国利 公認会計士事務所

JR水道橋・丸の内線本郷三丁目より5分
文京区本郷1-10-14

☎ (03) 3814-3800

（私共親子にお任せ下さい）

<http://www.tohkatsu.or.jp/user/kobayasi>